



平成二十八年一月六日
 皇紀2675年
 (西暦2015年)
 第116号

発行：淀姫神社社務所
 〒859-4501
 松浦市志佐町浦免632
 TEL・FAX 0956-72-0653

平成二十八年が明けました

明けましておめでとうございます

これを書いているのは一月六日です。

もうお正月の気分も抜けて、いつも通りの日常が戻ってきた頃だと思えますが、ともあれ無事に新年を迎えられたこと、おめでたく思います。皆さまにとって今年のお正月はどんなお正月だったでしょうか。のんびりしたお正月、忙しかつたお正月、いろいろありましたでしょうか。今年も皆さまにとって良き一年になりますよう、心よりお祈り申し上げる次第です。

さて、今年のお正月は全国的に暖かく、そこかしこで記録的な暖かさだったところもあるようです。ここ松浦でも、久しぶりの暖かいお正月でした。けれど、これを書いていける今日は久しぶりの肌寒さに見舞われております。

今年も暖冬傾向のようですが、ときおりこのような寒気が訪れるとのこと。皆さまにおかれましては、体調管理に気をつけて、風邪など召されませぬようご自愛くださいませ。



季節の言葉あれこれ

さて、今回もまた「季節の言葉あれこれ」ということで、この季節にちなんだ言葉をおくつかご紹介したいと思います。

【日脚伸ば】(ひあし・のび)

昼間の時間が最も短いのは、冬至の頃といわれています。

今の時期は少しずつですが、昼間の時間が長くなり始めている時期です。

実際の感覚ではわかりにくいのですが、よくよく空を眺めてみると、夕暮れの時間が徐々に遅くなり始めているのがわかります。

ちなみに。

日の出の時刻が一番遅いのは、冬至の頃ではなく、いまこれを書いていける一月の半ば頃だったりします。時間は午前7時半近く。なので、夜明けは若干遅く感じます。

一方の日の入りはというと。

日没の時刻が一番早いのは、こちらも冬至の頃ではありません。一番早く日が暮れるのは、十一月の下旬から十二月の月上旬です。わりと意外に感じるかも知れません。時間はだいたい午後5時15分くらい。

あつという間に夜になると感じるのはこの頃だったりします。

これから日の出の時間も徐々に早くなり、また日の出の時間も遅くなってくるので、1日あたり1分か2分ほど「昼時間(日の出から日没までの時間)」が長くなってきます。

お仕事の帰りなどに、夕暮れ時の空をちよつとだけ意識してみると、この言葉が実感できるかも知れませんが、ぜひお試しくださいね。

寒さはまだ真つ盛りはこの時期ですが、二月三日の節分を境に、暦の上での季節は春となります。そこから俳句や和歌の世界ではもうそろそろ「冬の終わり」と表現されます。

今回ご紹介した【日脚伸ば】は、季節の移り変わりや節目、日々の生活を大切に感じてきたところから生まれた、「春を乞う」言葉なのです。

まだまだ冬は続きます。皆さまにおかれましては、元気に冬を乗り切って春を迎えてください。



淀姫神社インターネット公式サイト「淀姫神社WEB」 <http://yodohimejinja.com/>

各種最新情報・blog「淀姫日記」にて「お祭りレポート」などなど、内容盛りだくさんでお送りしています。ぜひともチェックしてくださいませ。